Hyper e -Stage KIT 取扱説明書

商品番号	：０１－０５－５２３１（ペーパータイプフィルター）
	：０１－０５－５２３２（スポンジタイプフィルター）
適応車種	フレーム番号
ＣＲＦ５０Ｆ	：ＡＥ０３－１４０００００１～
ＸＲ５０Ｒ	：ＡＥ０３－１０００００１～

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠ 使用燃料についてのご注意 ⚠

ＳステージＫＩＴは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

⚠スパークプラグについてのご注意⚠

スパークプラグは必ずＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はＣ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

⚠ スプロケットについてのご注意 ⚠

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギアー化を行って下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付けるには、スロットルパイプのストッパー部の加工を必要とします。又、この加工によりアクセルリミッターの使用が、出来なくなりますのでご注意下さい。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には、別紙記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎このフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。エンジン不調の原因となりますのでご注意下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

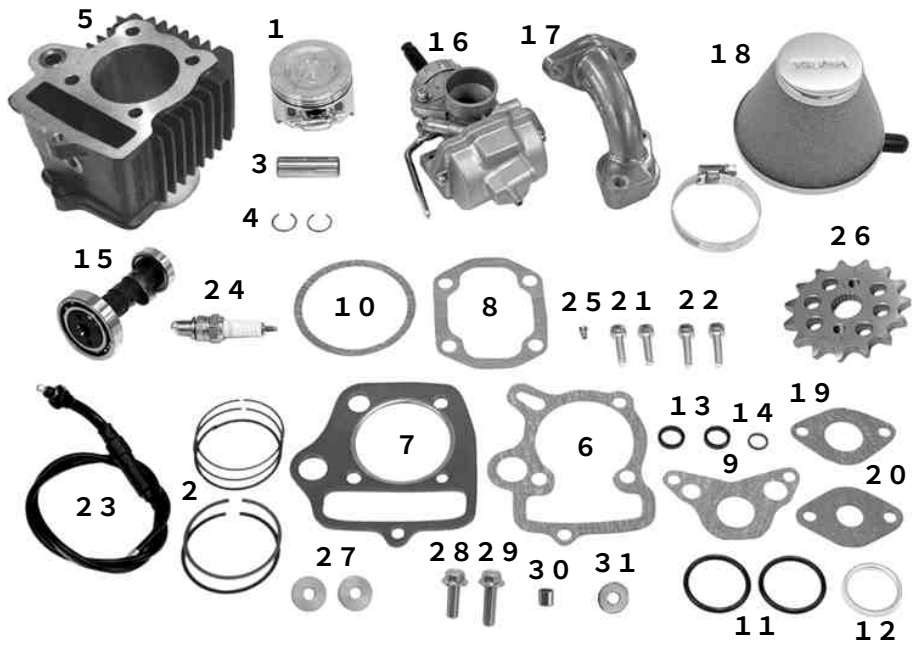
・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

Nov./04/ 05

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

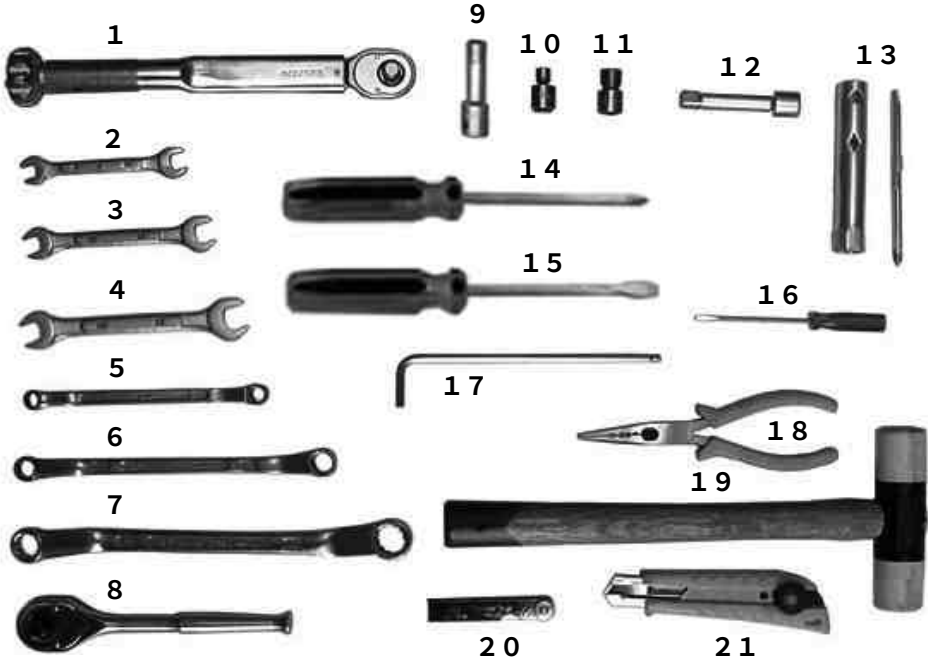
Lesson

◇普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるところまで締めましょう。１～２回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ３～４回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。



◇キット内容

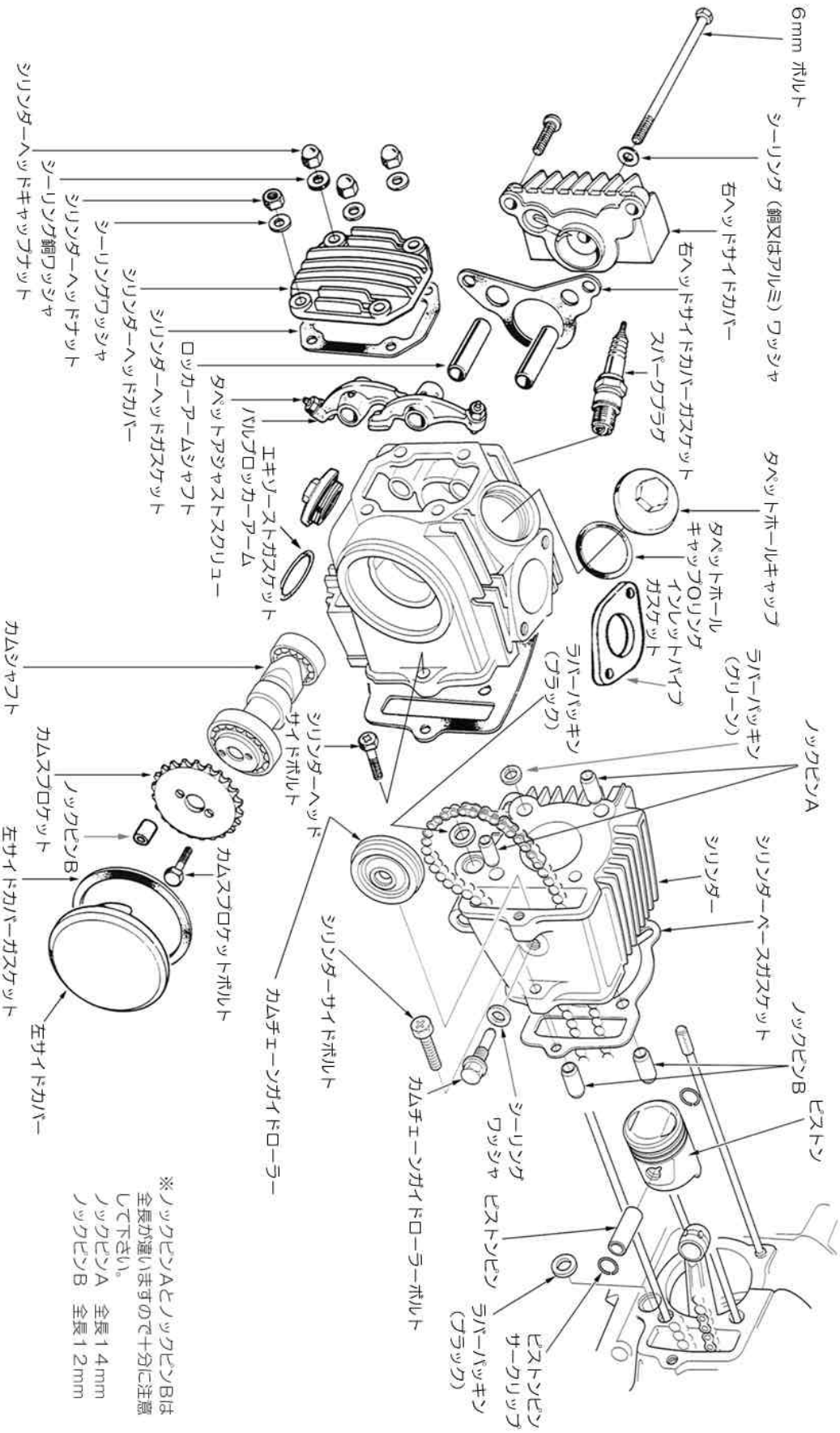
番号	部　品　名	個数
1	ピストン	1
2	ピストンリングセット	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーガスケット	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1
8	シリンダーヘッドカバーガスケット	1
9	右サイドカバーガスケット	1
１０	左サイドカバーガスケット	1
１１	タペットキャップＯリング	2
１２	エキゾーストパイプガスケット	1
１３	ラバーパッキン　ブラック	2
１４	ラバーガスケット　グリーン	1
１５	カムシャフト	1
１６	ＰＣ１８キャブレターＡＳＳＹ．	1
１７	インテイクマニホールド	1
１８	エアーフィルター（バンド付）	1
１９	キャブレターガスケット	1
２０	インレットパイプガスケット	1
２１	ソケットキャップスクリュー　６×２０	2
２２	ソケットキャップスクリュー　６×２５	2
２３	スロットルケーブル　７１０mm	1
２４	スパークプラグ　ＣＲ８ＨＳＡ	1
２５	メインジェット　＃８５	1
２６	ドライブスプロケット　１５Ｔ	1
２７	タンクスペーサー	2
２８	フランジボルト　８×２５	1
２９	フランジボルト　８×３０	1
３０	スペーサー　8.2×１０×9.5	1
３１	ワッシャ	1



◇取り付けに使用する工具等

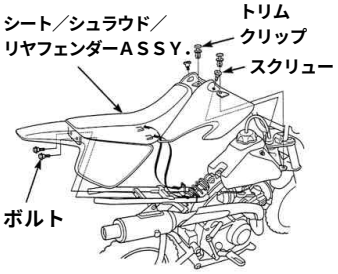
1	トルクレンチ
2	スパナレンチ　　８－１０mm
3	スパナレンチ　１０－１２mm
4	スパナレンチ　１２－１４mm
5	オフセットレンチ　　８－　９mm
6	オフセットレンチ　１０－１２mm
7	オフセットレンチ　１４－１７mm
8	ラチェットハンドル
9	ディープソケット　８mm
１０	ソケット　　８mm
１１	ソケット　１０mm
１２	エクステンションバー　小
１３	スパークプラグレンチセット（車載工具）
１４	ドライバープラス　中
１５	ドライバーマイナス　中
１６	細軸ドライバーマイナス
１７	６角棒レンチ　５mm
１８	ニードルノーズプライヤ
１９	プラスチックハンマー
２０	シックネスゲージ
２１	カッターナイフまたはスクレーパー
	針金等
	ウエス
	エンジンオイル

ノーマル部品各部名称


6mm ボルト
シーリング（銅又はアルミ）ワッシャ
右ヘッドサイドカバー
右ヘッドサイドカバーガスケット
スパークプラグ
タペットホールキャップ
タペットホール
キャップOリング
インレットパイプ
ガスケット
ラバーパッキン
（グリーン）
ラバーパッキン
（ブラック）
ノックピンA
シリンダーベースガスケット
シリンダー
ノックピンB
ピストン
シーリング
ワッシャ
ピストンピン
ラバーパッキン
（ブラック）
ピストンピン
サークリップ
シリンダーヘッドキャップナット
シーリング銅ワッシャ
シリンダーヘッドナット
シーリングワッシャ
シリンダーヘッドカバー
シリンダーヘッドガスケット
ロッカーアームシャフト
タペットアジャストスクリュー
バルブロッカーアーム
エキゾーストガスケット
カムシャフト
シリンダーヘッド
サイドボルト
カムスプロケット
ノックピンB
左サイドカバーガスケット
カムスプロケットボルト
左サイドカバー
シリンダーサイドボルト
カムチェーンガイドローラー
カムチェーンガイドローラーボルト
※ノックピンAとノックピンBは
全長が違いますので十分に注意
して下さい。
ノックピンA　全長14mm
ノックピンB　全長12mm

ＳＴＤ部品取り外し

１．外装部品を取り外す

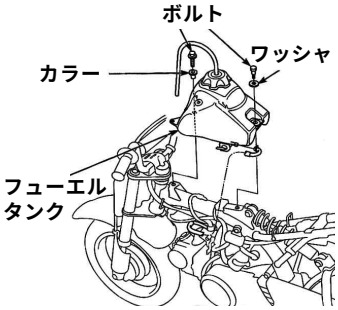


◇トリムクリップ２本、スクリュー２本、ボルト２本を取り外し、シート／シュラウド／リアフェンダーＡＳＳＹ.を取り外す。

◇トリムグリップはインナーピンをマイナスドライバー等で上げると取り外せる。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm
ドライバープラス　中

◇フューエルコックをＯＦＦにする。

◇チューブクリップをずらし、キャブレターのフューエルチューブの接続を外す。

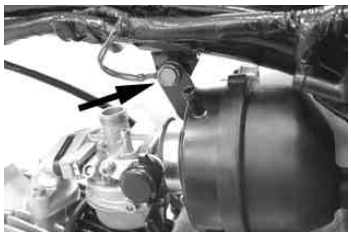


◇キャブレターからフューエルホースを外し、ボルト２本を取り外してフューエルタンクを取り外す。

２．キャブレターを取り外す

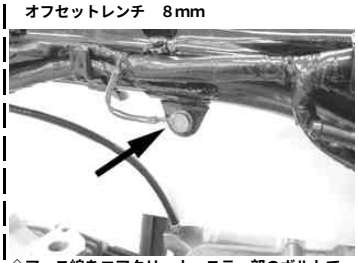
◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取る。

◇ストレージタンクのホースを抜き取る。



◇エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー　小

◇インレットパイプをシリンダーヘッドにとめているボルト２本を取り外しインレットパイプ、キャブレター、エアクリーナーを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　８mm



◇アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付ける。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー　小
規定トルク　１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

３．マフラーを取り外す

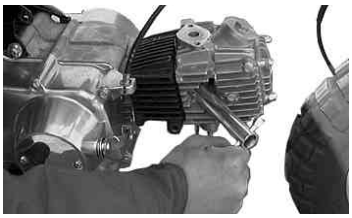
◇ＥＸパイプ部のナット２個を取り外す。
使用工具
スパナレンチ　１０mm

◇マフラーステーのボルトを取り外し、マフラーを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　１２mm

４．フロントフェンダーを取り外す

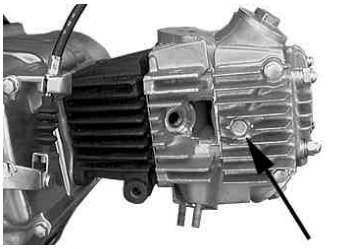
◇裏側のボルト３本を取り外し、フロントフェンダーを取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー　小

５．スパークプラグを取り外す



◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外すこと。
◇車載工具のスパークプラグレンチを使いプラグを取り外す。

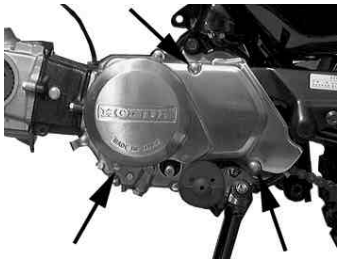
６．シリンダーヘッド左カバーを取り外す



◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の６角ボルトを外すと左カバーが外れる。（ボルトを外しても外れない場合６角ボルトを２～３山ねじ込み６角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる）
使用工具
ソケット　１０mm

７．クランクケース左カバーを取り外す

◇シフトペダルの６角ボルトを外しシフトペダルを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm

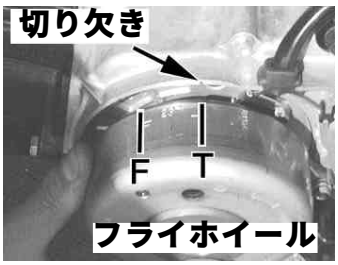


◇クランクケース左カバーを止めているボルト３本を取り外す。
使用工具
ディープソケット　８mm

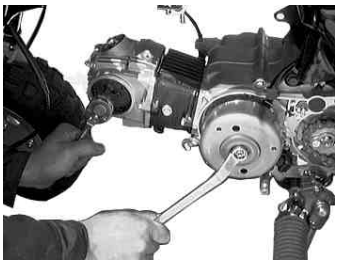
８．タペットキャップ２個を取り外す

◇タペットキャップ２個を取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　１７mm

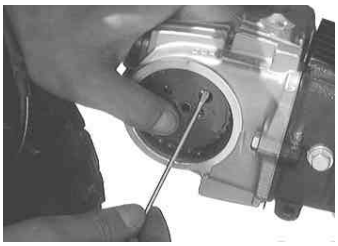
９．カムスプロケットを取り外す



◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

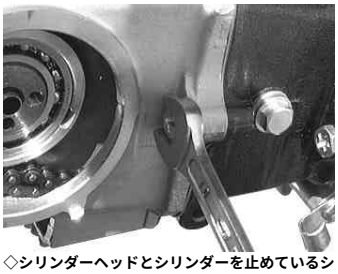


◇フライホイールを固定しカムスプロケット６角ボルト２個を取り外す。
使用工具
ソケット　８mm
オフセットレンチ　１４mm（フライホイール固定用）

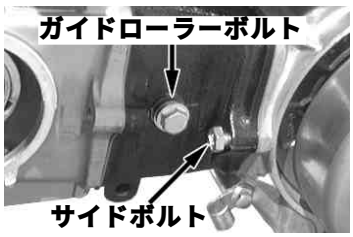


◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。
◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

１０．シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



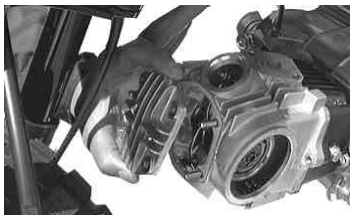
◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。
使用工具
スパナレンチ　１０mm



◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトをゆるめる。
使用工具
スパナレンチ　１０mm
オフセットレンチ　１０mm

１１．シリンダーヘッドカバーを取り外す

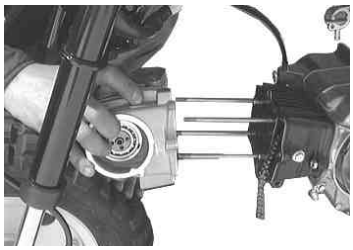
◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット４個を対角の順番に取り外す。
◇ナット下にあるワッシャ４枚を取り外す。
使用工具
ソケット　１０mm



◇ヘッドカバーを取り外す。（かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

１２．シリンダーヘッドを取り外す

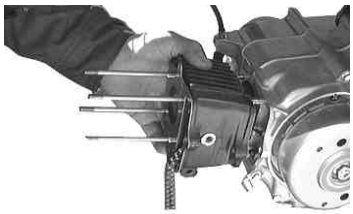
◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。（かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）



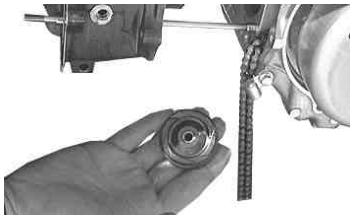
◇シリンダーヘッドを取り外す。
◇ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。

１３．シリンダーを取り外す

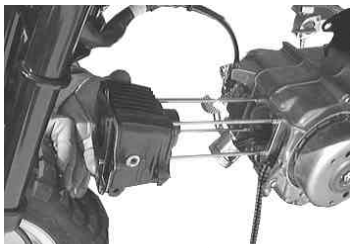
◇ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。（かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す）

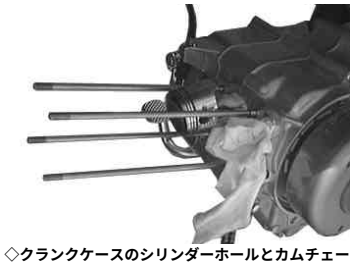


◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



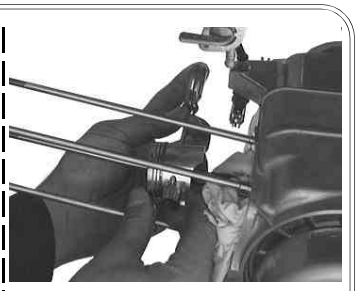
◇ピストンが抜けたらシリンダーを前方へ取り外す。

１４．ピストンを取り外す

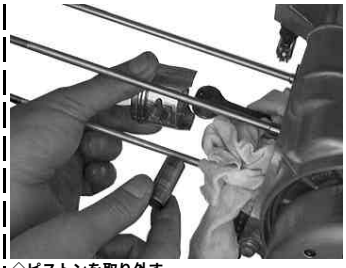


◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。

◇ピストンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れる。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

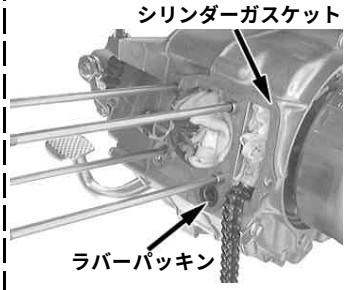


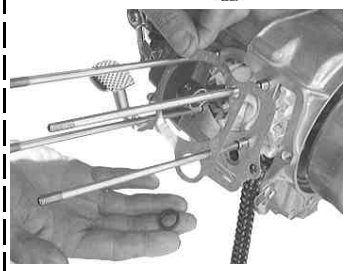
◇ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



◇ピストンを取り外す。

１５．取り付け面をきれいにする

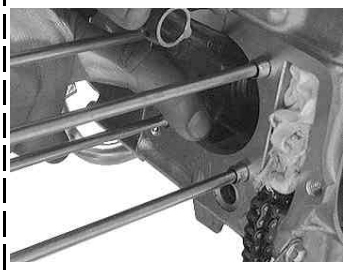




◇シリンダーガスケットやラバーパッキンを取り除く。

◇ガスケットがきれいにはがれない場合は、スクレーパーやカッターナイフできれいに取り除く。

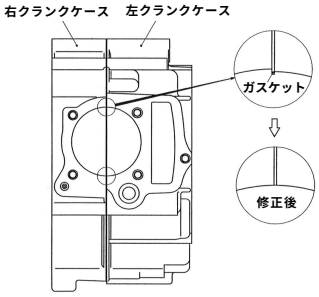
◇この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。
※クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

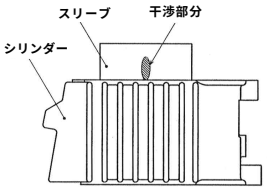


◇上写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

アルミシリンダー取り付け時の注意

左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダースリーブの斜線部分及びケース内部で、干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。
この作業は難易度は高いけれどチョット、プロの作業に近づいた感じはありますね。





修　正　要　領

1．クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
2．クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
3．削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
4．ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
5．キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればＯＫ。

Ｓ－ＳｔａｇｅＫＩＴ取り付け

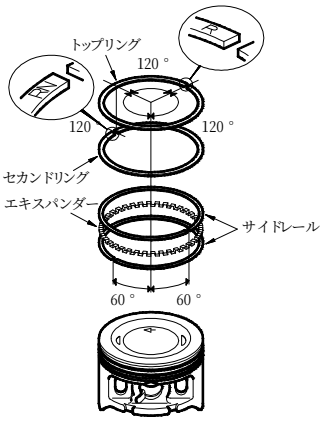
１．ピストンを組み付ける

◇ピストンの左側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
◇この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。

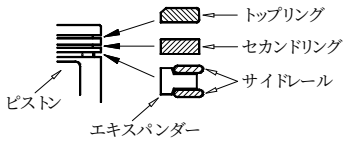
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

◇ピストンリングみぞにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる



トップリングの上面にはＲの刻印セカンドリングの上面にはＲＮの刻印があります。



断面にも注意

◇オイルリングエキスパンダーを入れる。

◇下オイルリングサイドレールを入れる。

◇上オイルリングサイドレールを入れる。

◇文字面を上にしてセカンドリング（黒色）を入れる。

◇文字面を上にしてトップリング（茶色）を入れる。

◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。

◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。

◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。

◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。
※押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行うこと。

◇詰めていたウエスを取り外す。

２．シリンダーの取り付け

◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

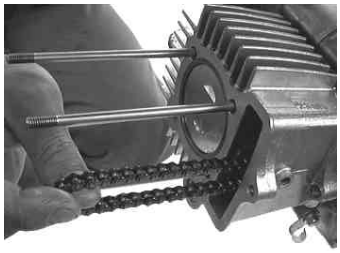
◇ノックピンＢ（長さ１２mm）２個が付いているか確認し、シリンダーガスケットとラバーパッキン（ブラック）を１個取り付ける。

◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。

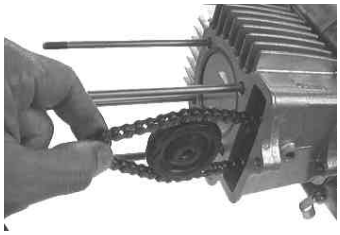
◇シリンダーを入れていく。

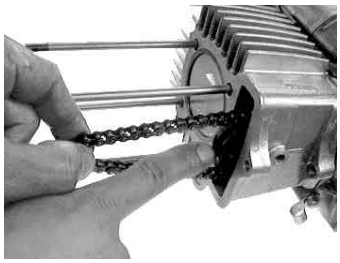
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。
※ここは難易度が高いのでがんばろう。

◇リングがシリンダーにはいったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。

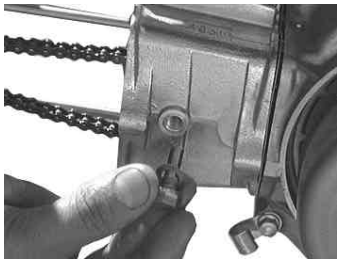


◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。





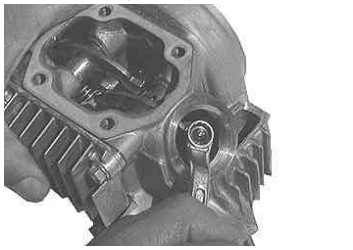
◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



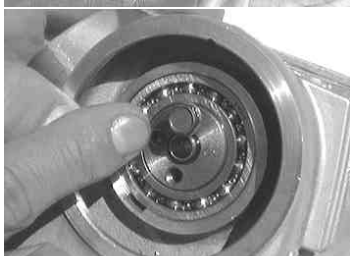
◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
（指で閉まる程度まで仮止め）

◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。
（指でしまる程度まで仮止め）

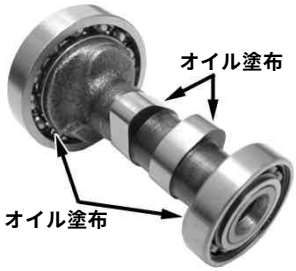
３．カムシャフト交換



◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。
タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　９mm



◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のカムシャフトのカム部とベアリング部にきれいなエンジンオイルを塗る。

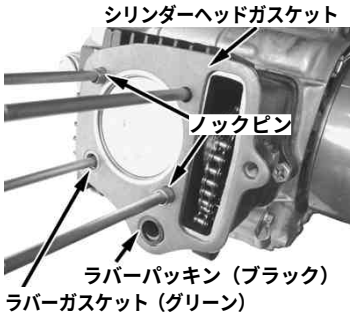
◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。
入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。

◇ノーマルカムのノックピンをキットカムに取り付ける。

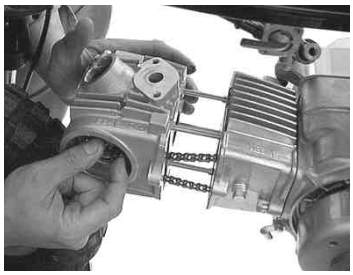
◇ロッカーアームのタペットスクリューを取り付ける。

４．シリンダーヘッド取り付け

◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。

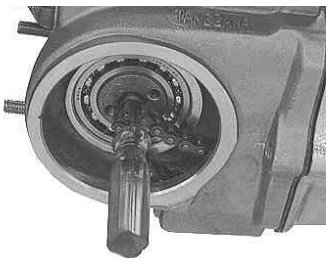


◇シリンダーにノックピンＡ（長さ１４mm）２個、シリンダーヘッドガスケット、ラバーパッキン（ブラック）、ラバーガスケット（グリーン）を取り付ける。
※パッキンは外れやすいので要注意。

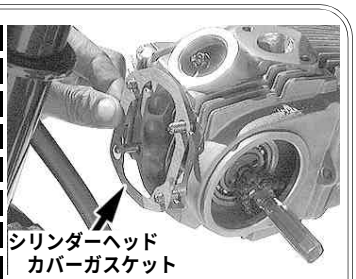


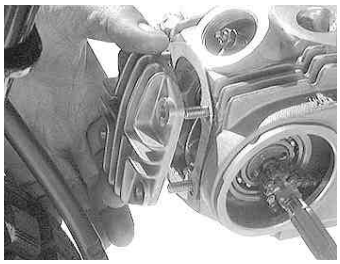
◇シリンダーヘッドをスタットボルトに通す。

◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。

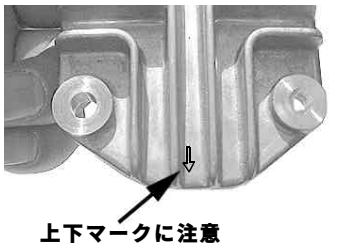


◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。

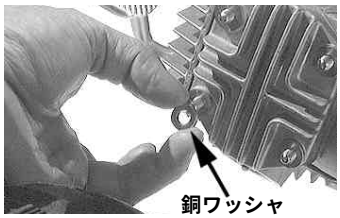




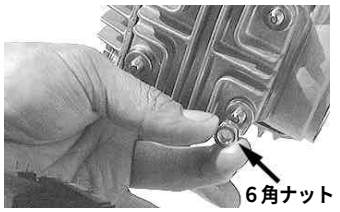
◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



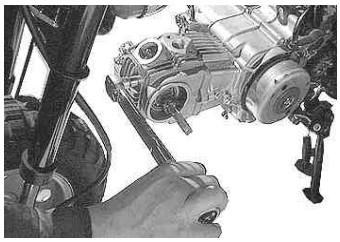
◇矢印は下の方向　（排気側）　になること。



◇ヘッドカバーのワッシャを位置に注意して取り付ける。（エンジンを前から見て左下に銅ワッシャがくること。）

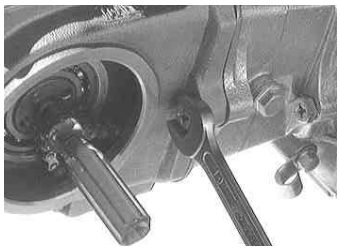


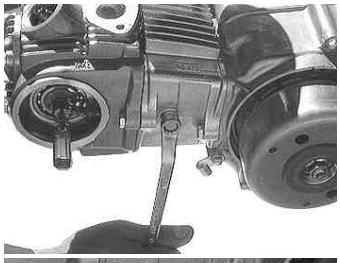
◇ヘッドナットを位置に注意して取り付ける。
（エンジンを前から見て右下に６角ナットがくること。）



◇ヘッドナットを均等に締め付ける。
（トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める）
使用工具
ソケット　１０mm
締め付けトルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

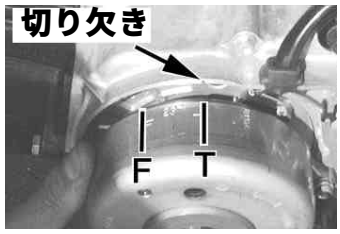
◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。
使用工具
スパナレンチ　１０mm
オフセットレンチ　１０mm





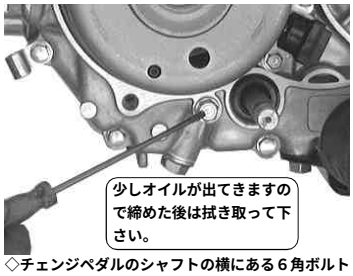
締め付けトルク
ガイドローラーボルト
１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
サイドボルト上下
１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

５．カムスプロケットの取り付け

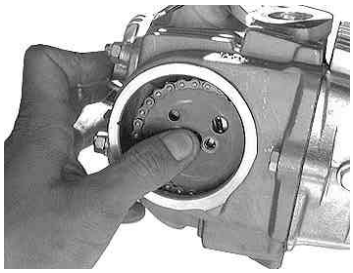


◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切りかき部に合わす。

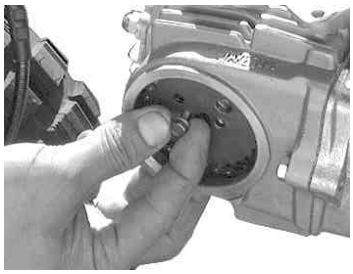
◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にかむシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。
※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。



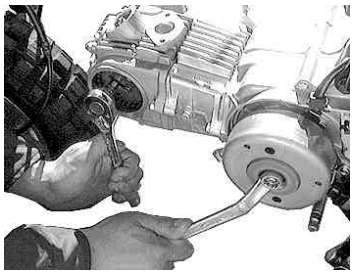
◇チェンジペダルのシャフトの横にある６角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーがゆるむのではめやすくなる。



※ここは難易度が高いのでがんばろう。
◇カムスプロケットのＯマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



◇カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。



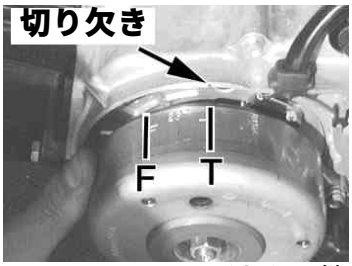
◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。
使用工具
ソケット　８mm
オフセットレンチ　１４mm
締め付けトルク　９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）

◇先程、取り外したチェンジペダルシャフト横の６角ボルトを取り付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm
締め付けトルク　１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）

６．タペットすき間の調整

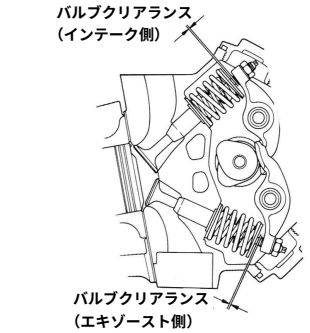
ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

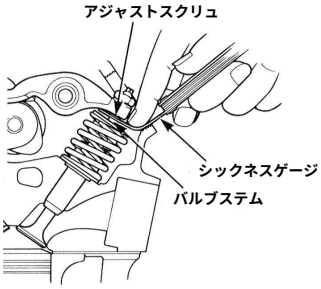
シリンダーヘッド側

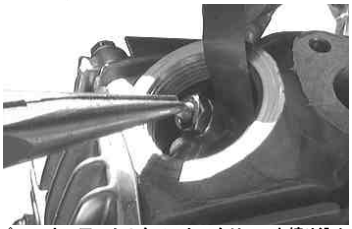


フライホイール側

◇カムシャフトのＯマークとフライホイールのＴマークがそれぞれの切りかきに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットを取り付けてＴマークとＯマークが同時に合えばＯＫ。



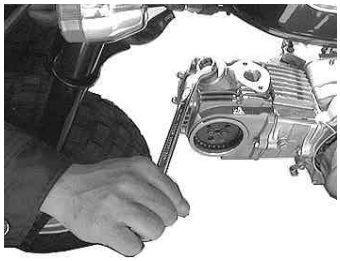




◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブステムエンドの間に０.０５ミリのシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合０.０７と０.０３のシックネスゲージを用意して０.０７がすき間に入らず０.０３がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい０.０５ミリということになる）ＩＮ.ＥＸ共に０.０５ミリに合わせる。
使用工具
ニードルノーズプライヤ
オフセットレンチ　９mm
シックネスゲージ

◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転手で回した後でＴマークとＯマークを合わせる。

◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。

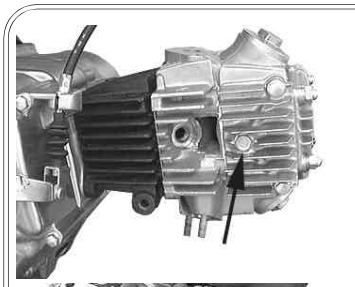


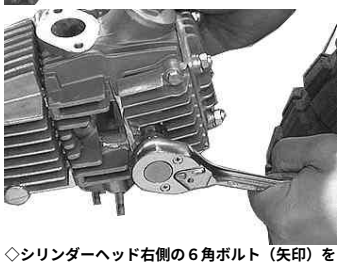
◇タペットキャップ２個を取り付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１７mm
締め付けトルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

７．シリンダーヘッド左カバー取り付け

◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
（左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りしないように回り止めを合わせる）

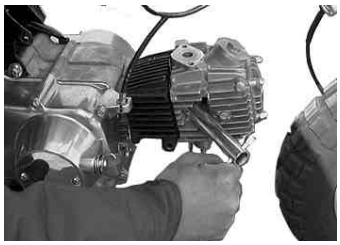
（回り止めを合わせる）





◇シリンダーヘッド右側の６角ボルト（矢印）を締める。
使用工具
ソケット　１０mm
締め付けトルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

８．スパークプラグの取り付け



◇車載工具かスパークプラグレンチを使いキット内のプラグを取り付ける。
使用工具
スパークプラグレンチ
締め付けトルク　１１Ｎ・ｍ
（１.１ｋｇｆ・ｍ）
◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

９．ノーマルマフラーの取り付け

◇マフラーを取り付け、マフラーステーのボルトを取り付ける。（仮止め）
使用工具
オフセットレンチ　１２mm

◇ＥＸパイプ部のナット２個を締める。（仮止め）
使用工具
スパナレンチ　１０mm
◇仮止め箇所を締め付ける。
締め付けトルク
ボルト：２６Ｎ・ｍ（２.７ｋｇｆ・ｍ）
ナット：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

１０．フロントフェンダーの取り付け

◇ボルト３本で、フロントフェンダーを取り付ける。
使用工具
ソケット　１０mm
エクステンションバー　小

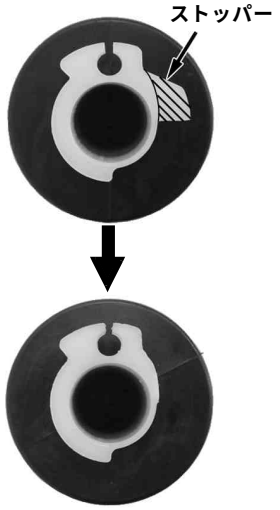
１１．スロットルケーブルの取り付け

◇ノーマルスロットケーブルのワイヤリングを外す。

◇６角ナットをゆるめる。
使用工具
スパナレンチ　１４mm

◇スクリュー２本を外し、アッパースロットルハウジングを取り外す。

◇スロットルパイプからスロットルケーブルのインナーケーブルを外す。



◇スロットルパイプをハンドルから抜き取り、写真のようにスロットルパイプのストッパー部を加工し、取り除く。

◇ロアスロットルハウジングからノーマルスロットルケーブルを取り外す。

◇キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。

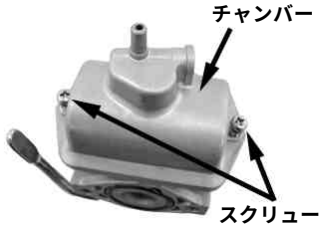
◇インナーケーブルを加工したスロットルパイプに接続する。

◇アッパースロットルハウジングを２本のスクリューで取り付ける。
※このとき、前側のスクリューを先に締め付け、後側のスクリューを後に締め付ける。

※ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジングの分割部をハンドルの“Ｏ”マークに合わせる。

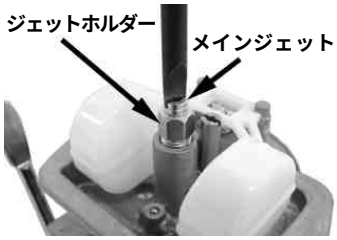
◇スロットルケーブルのワイヤリングをする。

１２．メインジェットの交換



◇２本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外す。
使用工具
ドライバープラス　中

※フロートピンは外れやすいので注意して下さい。

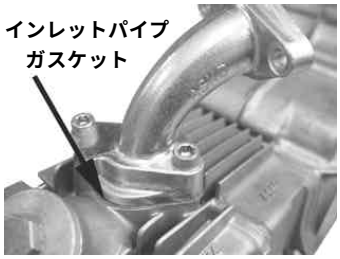


◇メインジェットをジェットホルダーから取り外す。
使用工具
ドライバーマイナス　中

◇キットのメインジェットを取り付ける。
使用工具
ドライバーマイナス　中

◇フロートチャンバーを取り付け、２本のスクリューでキャブレターに取り付ける。

１３．キャブレターの取り付け

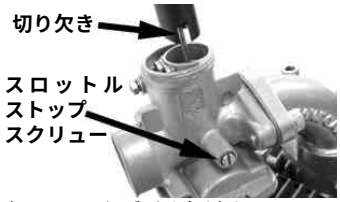


◇インテイクマニホールドとシリンダーヘッドにインレットパイプガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリュー６×２５　２本で取り付ける。
使用工具
６角棒レンチ　５mm
締め付けトルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

◇ＰＣ１８キャブレターとインテイクマニホールドにキャブレターガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリュー６×２０　２本で取り付ける。
使用工具
６角棒レンチ　５mm
締め付けトルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

◇ＰＣ１８キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、スロットルバルブを抜き取る。

◇スロットルケーブルにトップキャップを取り付け、スプリングを入れてインナーケーブルにスロットルバルブを取り付ける。



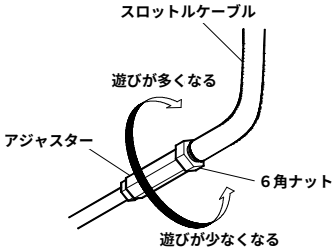
◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに差し込み、取り付ける。

◇キャブレターのくぼみにトップキャップの凸を合わせて取り付ける。

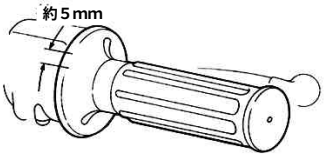
１４．スロットルの遊びの調整

◇スロットルケーブルのブーツをめくり、アジャスターを出す。

◇６角ナットを保持し、アジャスターをゆるめる。
使用工具
スパナレンチ　８mm
スパナレンチ　１０mm



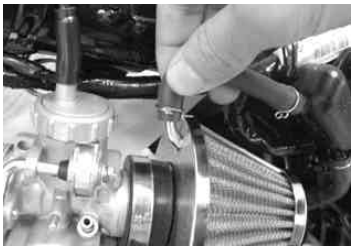
◇アジャスターを回すと遊びが調節出来る。



◇スロットルグリップ部で５mm程度の遊びになるように調整する。
◇アジャスターを固定し、６角ナットを締め付ける。
使用工具
スパナレンチ　８mm
スパナレンチ　１０mm
◇スロットルをスナップさせ、スロットルバルブがスムーズに動くか確認する。
◇ハンドルを左右にいっぱい切ってもスロットルに遊びがあることを確認する。
◇ブーツをかぶせる。

１５．エアーフィルターの取り付け

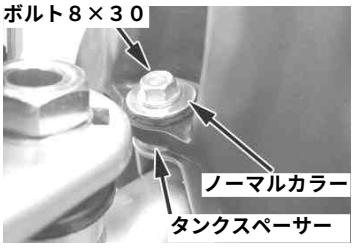
◇バンドをエアーフィルターに付け、キャブレターに差し込む。バンドを締め付ける。

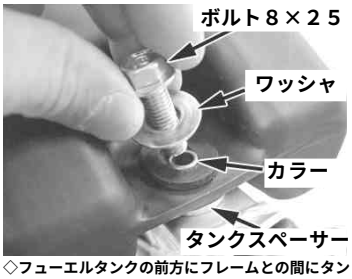


◇ストレージタンクのホースをエアーフィルターに取り付ける。

◇フューエルチューブをキャブレターに接続する。

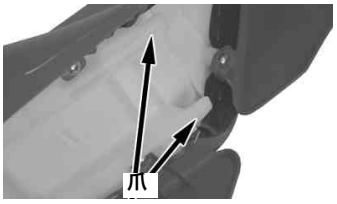
１６．外装品の取り付け

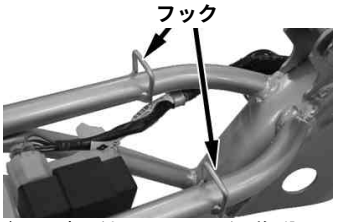




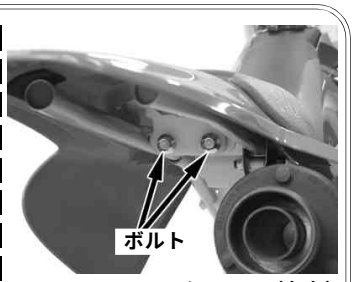
◇フューエルタンクの前方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、ボルトを取り付ける。後方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、カラーとキット内のワッシャを入れてボルトを取り付ける。
締め付けトルク　２６Ｎ・ｍ
（２.７ｋｇｆ・ｍ）

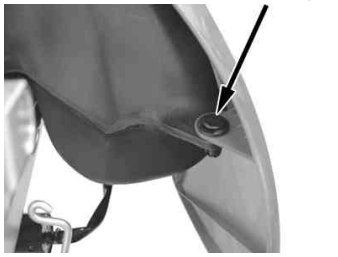
◇シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート／シュラウド／リアフェンダーＡＳＳＹをトリムクリップ２個、スクリュー２本、ボルト２本で取り付ける。





◇シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート／シュラウド／リアフェンダーＡＳＳＹ．を取り付ける。





◇ボルト２本、スクリュー２本、トリムクリップ２本を取り付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm
ドライバープラス　中
締め付けトルク
ボルト　：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
スクリュー：４Ｎ・ｍ（０.４ｋｇｆ・ｍ）

※シュラウドを引っ張りながら取り付け穴をフューエルタンクのネジ穴に合わせてスクリュー２本を取り付ける。
取り付けにくい場合は、ヤスリ等で長穴加工をして下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL　０７２１－２５－１３５７　FAX　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

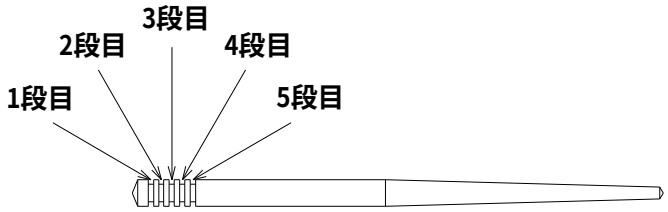
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル　（スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット　（スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット　（調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３.０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
　パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１.５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９　URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７

Aug./20/ 09